

For Advanced DTP users

upftool Ver.2

USERS MANUAL

株式会社ユニテクス・ジャパン

まえがき

本書は、upftoolについて記述したものです。

本マニュアルは、当社製品のSuperLayout（スーパーレイアウト）で編集し、印刷したものです。

ご注意

「ユニテクス・プリントフィルター UPF-PS , UPF-PSC」は、Adobe 純正のポストスクリプトプリンタでのみ動作を保證致します。

本書は著作権法の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について、株式会社ユニテクス・ジャパンから文書による承諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製することは禁じられています。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

弊社はお客様の機器運用に関するいかなる損害の責任も負いません。

目次

1	upftool の起動と終了	1
2	ファイルメニュー	2
2.1	イメージ読み込み	2
2.2	イメージ保存	3
2.3	画面ハードコピー	4
2.4	印刷設定	5
2.5	印刷	6
2.6	終了	7
3	編集メニュー	8
3.1	イメージ編集	8
3.2	イメージ変換	9
4	書式メニュー	10
4.1	イメージ書式	10
5	情報メニュー	12
5.1	私は誰?	12

upftool の起動と終了

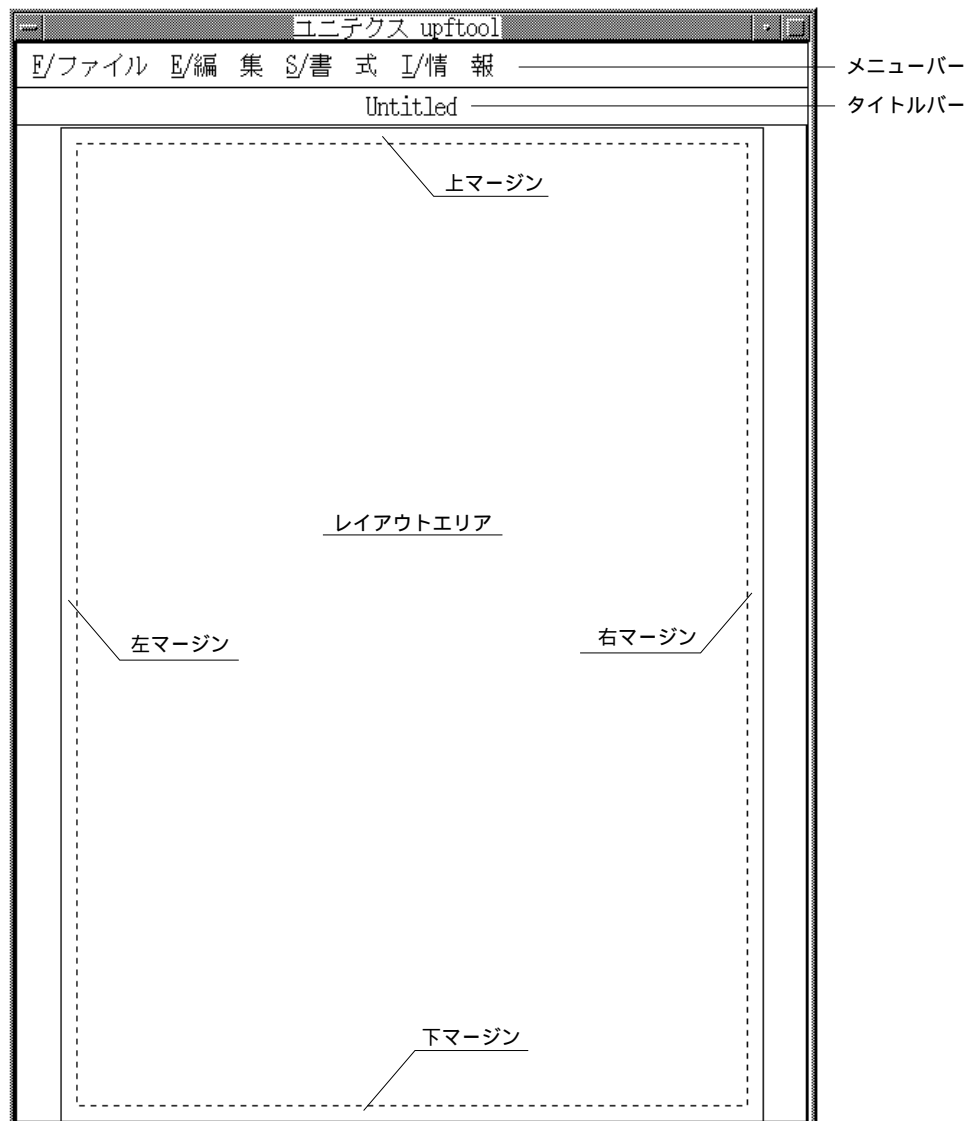
イメージ出力用プログラム (upftool) は、画面上でイメージのレイアウトを行い、その結果をプリンタに出力するプログラムです。

upftool の起動

upftool を起動するには、X-Windowを立ち上げた後、次のようにコマンド入力します。

```
% upftool
```

upftoolが起動され、次のような初期画面が表示されます。



upftool の終了

upftoolを終了するには、【ファイル】メニューから【終了】を選択します。

E/ファイル	
Q/イメージ読み込み...	Ctrl+O
S/イメージ保存...	Ctrl+S
H/画面ハードコピー...	Ctrl+H
U/印刷設定...	Ctrl+U
P/印刷...	Ctrl+P
Q/終了	Ctrl+Q

ファイルメニュー

2.1 イメージ読み込み レイアウトエリアにイメージファイルを読み込みます。

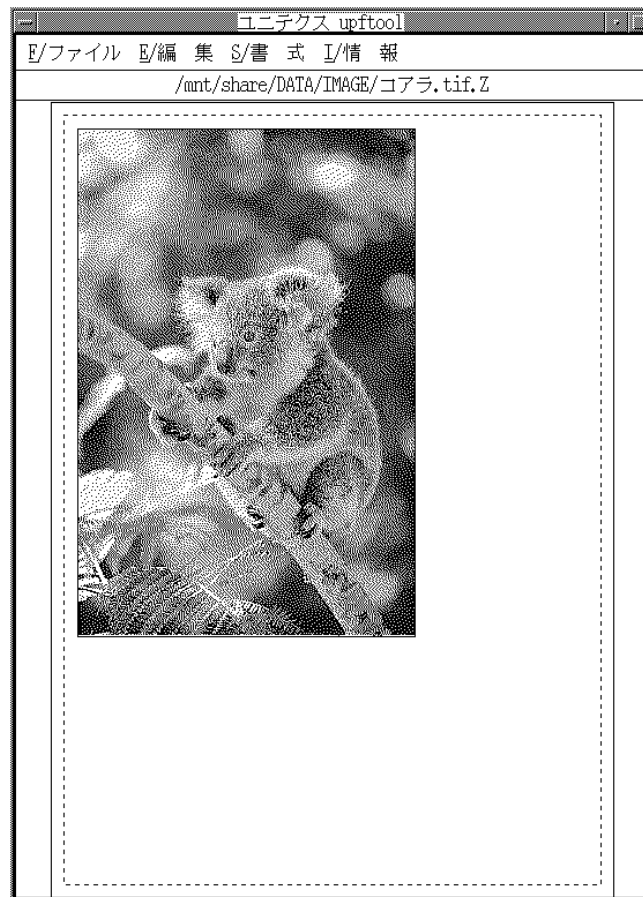
E/ファイル	
O/イメージ読み込み...	Ctrl+O
S/イメージ保存...	Ctrl+S
H/画面ハードコピー...	Ctrl+H
U/印刷設定...	Ctrl+U
P/印刷...	Ctrl+P
Q/終了	Ctrl+Q

- 1) 【ファイル】メニューから【イメージ読み込み】を選択します。
- 2) ダイアログが表示されます。

ディレクトリを指定し、スクロールメニューから読み込みたいイメージファイルをダブルクリックして選択します。選択すると、ファイル名フィールドにファイル名が表示されます。また、ファイル名フィールドに直接ファイル名を入力することもできます。



- 4) 「読み込み」ボタンをクリックすると、イメージが読み込まれます。「取消」ボタンをクリックすると、ダイアログが消去されます。

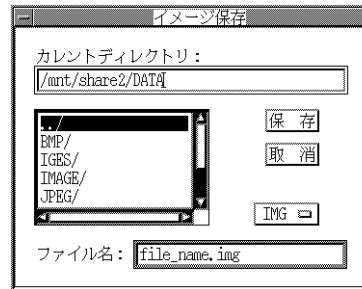


2.2 イメージ保存

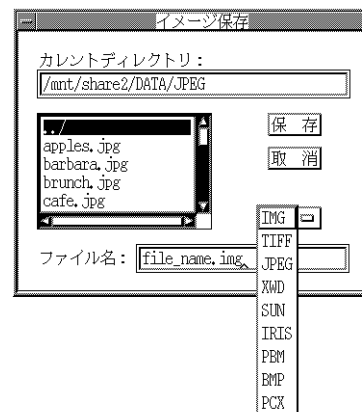
レイアウトエリアに表示されているイメージを任意のファイル名で保存します。また、イメージフォーマットを指定することができます。

F/ファイル	
O/イメージ読み込み...	Ctrl+O
S/イメージ保存...	Ctrl+S
H/画面ハードコピー...	Ctrl+H
U/印刷設定...	Ctrl+U
P/印刷...	Ctrl+P
Q/終了	Ctrl+Q

- 1) 【ファイル】メニューから【イメージ保存】を選択します。
- 2) ダイアログが表示されます。



- 3) ディレクトリを指定し、ファイル名フィールドに保存ファイル名を入力します。また、イメージフォーマットを指定します。

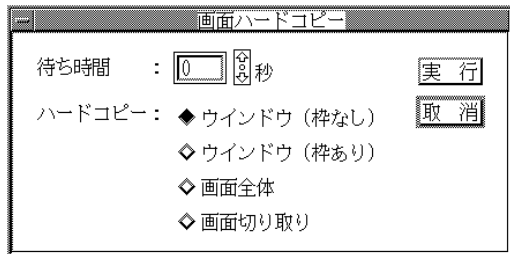


- 4) 「保存」ボタンをクリックすると、指定したファイル名で保存されます。「取消」ボタンをクリックすると、ダイアログが消去されます。

2.3 画面ハードコピー 画面ハードコピーを実行するには、次のように行います。

F/ファイル	
O/イメージ読み込み...	Ctrl+O
S/イメージ保存...	Ctrl+S
H/画面ハードコピー...	Ctrl+H
U/印刷設定...	Ctrl+U
P/印刷...	Ctrl+P
Q/終了	Ctrl+Q

- 1) 【ファイル】メニューから【画面ハードコピー】を選択します。
- 2) ダイアログが表示されます。



待ち時間：

「実行」ボタンをクリックしてから、ハードコピーを行うまでの時間を指定します。
0～60秒まで指定できます。

ハードコピー：

ハードコピーの方法を指定します。

- 3) 「実行」ボタンをクリックします。ハードコピーの方法によって、操作方法が異なります。

ウインドウ (枠なし)

マウスマウスカーソルが十字形になったら、任意のウインドウをクリックします。レイアウトエリアに枠なしでウインドウが表示されます。

ウインドウ (枠あり)

マウスマウスカーソルが十字形になったら、任意のウインドウをクリックします。レイアウトエリアに枠ありでウインドウが表示されます。

画面全体

しばらくすると、レイアウトエリアに画面全体が表示されます。

画面切り取り

マウスマウスカーソルが十字形になったら、任意の部分をドラッグします。レイアウトエリアにドラッグした部分が表示されます。

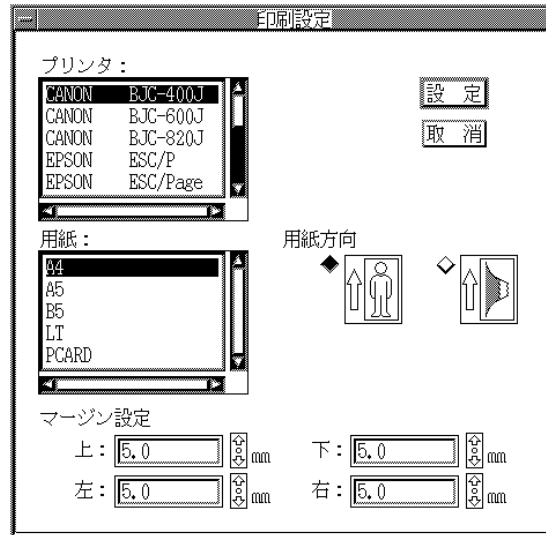
「取消」ボタンをクリックすると、ダイアログが消去されます。

2.4 印刷設定

印刷を実行するには、まず「印刷設定」でプリンタや用紙サイズなどを設定します。
この印刷設定は、「印刷」実行時に毎回設定する必要はありません。印刷設定の内容を変更したい場合に設定して下さい。

F/ファイル		
O/イメージ読み込み...		Ctrl+O
S/イメージ保存...		Ctrl+S
H/画面ハードコピー...		Ctrl+H
U/印刷設定...		Ctrl+U
P/印刷...		Ctrl+P
Q/終了		Ctrl+Q

- 1) 【ファイル】メニューから【印刷設定】を選択します。
- 2) ダイアログが表示されます。



プリンタ：

スクロールメニューから出力するプリンタを選択します。

用紙：

スクロールメニューから用紙サイズを選択します。

用紙方向：

縦置き（ポートレイト）か、または横置き（ランドスケープ）を選択します。

マージン設定：

上下左右の余白を指定します。

イメージのレイアウト位置はこの値に制限されます。

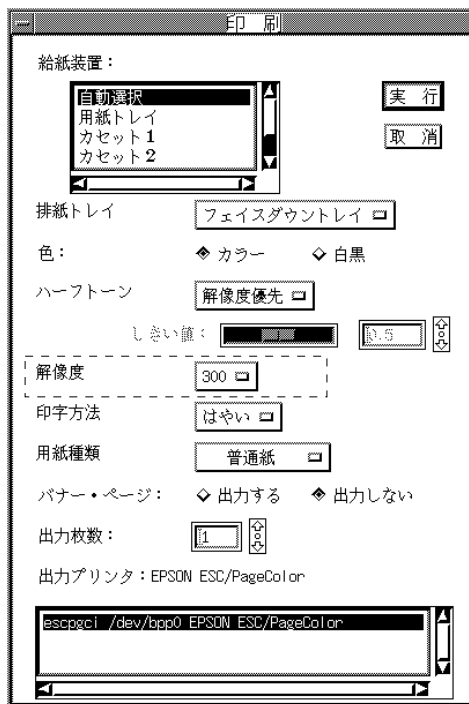
- 3) 「設定」ボタンをクリックします。
用紙方向を「横置き」に指定した場合、ウィンドウが横長にリサイズされます。
「取消」ボタンをクリックすると、ダイアログが消去されます。

2.5 印刷

印刷を実行するには次のように行います。

- 1) 【ファイル】メニューから【印刷】を選択します。
- 2) ダイアログが表示されます。（ダイアログ内の非活性化になっている項目は、「印刷設定」ダイアログで選択したプリンタでは設定不要な項目です。）

F/ファイル	
O/イメージ読み込み...	Ctrl+O
S/イメージ保存...	Ctrl+S
H/画面ハードコピー...	Ctrl+H
U/印刷設定...	Ctrl+U
P/印刷...	Ctrl+P
Q/終了	Ctrl+Q

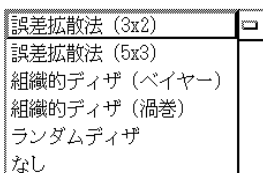


給紙装置：
スクロールメニューから給紙装置を選択します。

排紙トレイ：
「フェイスダウントレイ」または「フェイスアップトレイ」を選択します。

色：
「カラー」または「白黒」を選択します。

ハーフトーン：
「解像度優先」または「階調優先」を選択します。ここに表示されるメニューの項目は、「印刷設定」ダイアログで選択したプリンタによって異なり、次のメニューが表示される場合もあります。



ハーフトーンの処理方法を選択します。「なし」を選択した場合は、「しきい値」を指定します。

* ポストスクリプトフィルタ UPF-PS, UPF-PSC では、このハーフトーン処理はサポートしていません。

解像度：

解像度を選択します。選択可能な解像度はプリンタによって異なります。

* ポストスクリプトフィルター UPF-PS , UPF-PSC では、サポートしていません。

スペシャルメニュー：

破線部分にスペシャルメニューが表示されます。内容はプリンタによって異なります。また、プリンタによってはスペシャルメニューのないものもあります。

用紙種類：

普通紙、厚紙、OHPシートから選択します。

バナー・ページ：

バナー・ページを出力するか、出力しないかを選択します。

出力枚数：

出力枚数を指定します。

出力プリンタ：

UPFTOOL セットアップ・スクリプトで登録したプリンタ情報から出力プリンタを選択します。メニューのタイトルには、印刷設定ダイアログで選択されたプリンタモデルが表示されます。

そして、メニューのエントリは、プリンタモデルのフィルター・タイプが同じプリンタ情報を表示します。

メニューのエントリは、以下の内容になります。

プリント・サービスのプリンタ名 出力先 コメント

出力先は、接続しているプリンタによって内容が異なります。

ローカルプリンタ デバイス名
リモートプリンタ リモートホスト名:リモートプリンタ名
ネットワークプリンタ リモートホスト名

接続しているプリンタに対するプリンタモデルを正しく選択してください。

- 3) 「実行」ボタンをクリックすると、印刷が実行されます。
「取消」ボタンをクリックすると、ダイアログが消去されます。

2.6 終了

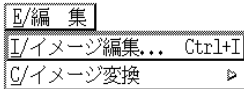
upftoolを終了するには、【ファイル】メニューから【終了】を選択します。

E/ファイル	
O/イメージ読み込み...	Ctrl+O
S/イメージ保存...	Ctrl+S
H/画面ハードコピー...	Ctrl+H
U/印刷設定...	Ctrl+U
P/印刷...	Ctrl+P
Q/終了	Ctrl+Q

編集メニュー

3.1 イメージ編集

イメージ編集では、ガンマ補正、カラーバランス、コントラスト、彩度、明るさの指定が可能です。但し、イメージがカラーまたはグレイの時に指定可能です。



1) 【編集】メニューから【イメージ編集】を選択します。

2) ダイアログが表示されます。

ガンマ補正：

「赤」、「緑」、「青」の値を指定します。

カラーバランス：

色のバランスを調整する機能です。「赤」、「緑」、「青」の値を指定します。

コントラスト：

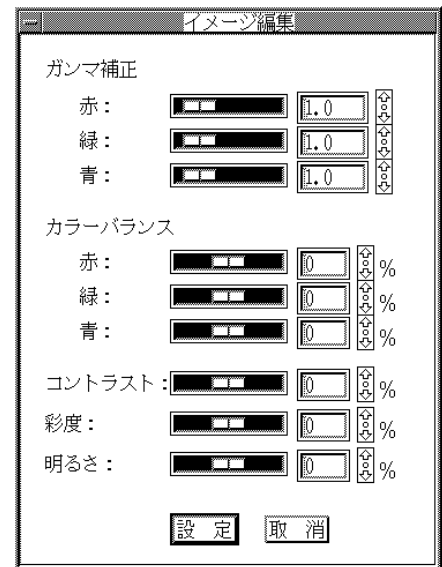
コントラスト（明暗比）を指定します。値を上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。値を下げると、明暗の差が少なくなります。

彩度：

イメージの鮮やかさを調整する機能です。

明るさ：

値を上げるとイメージ全体が明るくなり、逆に値を下げると暗くなります。



3) 「設定」ボタンをクリックします。

「取消」ボタンをクリックすると、ダイアログが消去されます。

ここで設定した値は、印刷時に反映されます。

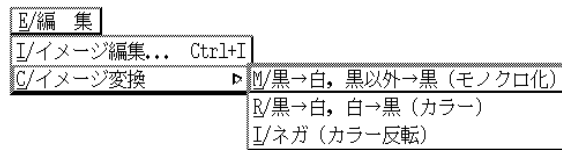


カラーイメージをカラーレーザープリンタに出力する場合、ガンマ補正の赤、緑、青を全て 0.6 に設定すると印刷品質が向上することがあります。

3.2 イメージ変換

イメージの色の変換を行います。イメージ変換は、画面上で確認することができます。

- 1) 【編集】メニューから【イメージ変換】を選択すると、プルダウンメニューが表示されます。



- 2) 任意の処理を選択します。それぞれの処理は次の通りです。

黒 白, 黒以外 黒 (モノクロ化)黒を白に、黒以外を黒に変換します。

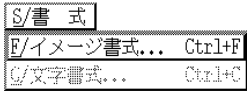
黒 白, 白 黒 (カラー)黒を白に、白を黒に変換します。

ネガ (カラー反転)反転を行います。

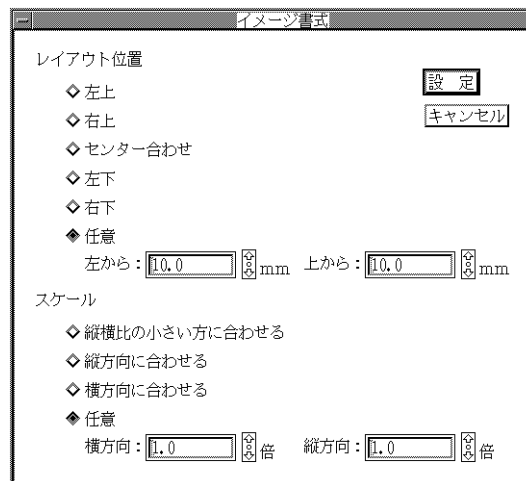
書式メニュー

4.1 イメージ書式

イメージのレイアウト位置とスケールの指定を行います。



- 1) 【書式】メニューから【イメージ書式】を選択します。
- 2) ダイアログが表示されます。



レイアウト位置：

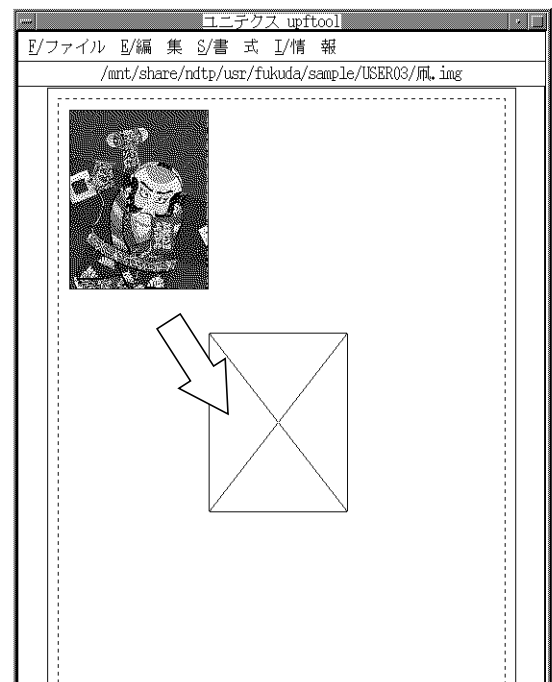
イメージをレイアウトエリア上のどこにレイアウトするかを指定します。

[左上 / 右上 / センター合わせ / 左下 / 右下 / 任意] から選択します。

「任意」を選択した場合、「左から」と「上から」に値を入力します。

また、「任意」に設定されている場合、数値入力を行わなくても直接レイアウトエリア上で位置を指定することができます。

イメージをマウスでドラッグし、任意の位置でボタンを離すと、その位置にイメージが移動します。



スケール：

イメージのスケールを指定します。

縦横比の小さい方に合わせる

.....レイアウトエリアの縦幅と横幅のどちらか小さい方にイメージのスケールを合わせます。

縦方向に合わせる.....レイアウトエリアの縦幅にイメージのスケールを合わせます。

横方向に合わせる.....レイアウトエリアの横幅にイメージのスケールを合わせます。

任意.....「横方向」と「縦方向」に任意のスケールを指定できます。

3) 「設定」ボタンをクリックします。

「取消」ボタンをクリックすると、ダイアログが消去されます。

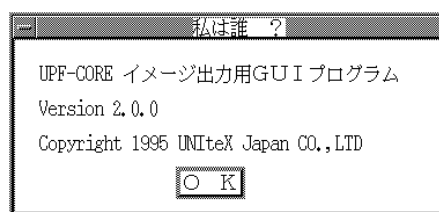
情報メニュー

5.1 私は誰？

upftool のバージョンを表示します。



- 1) 【情報】メニューから【私は誰？】を選択します。
- 2) ダイアログが表示されます。



- 3) 「OK」ボタンをクリックすると、ダイアログが消去されます。